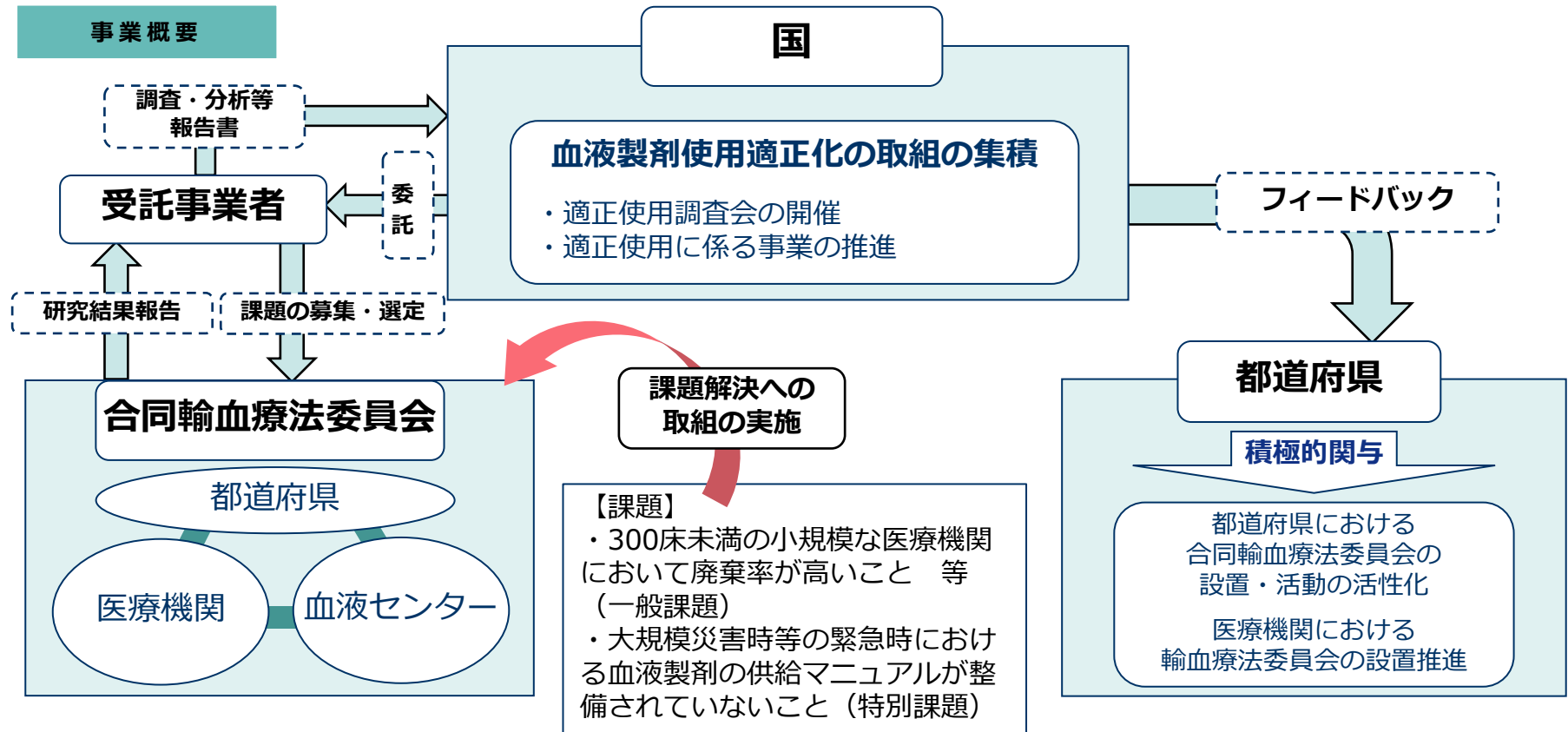


目的

- 本事業は、血液製剤の適正使用を推進する観点から、各都道府県における課題とそれに対する取組について調査研究すると共に、「国土強靱化基本計画」に基づき災害時等における輸血用血液製剤の供給体制を整備することを目的としている。
- 厚生労働省は、血液製剤の適正使用を推進するために、各都道府県に医療機関や採血事業者等の関係者が参加して、血液製剤の適正使用を推進する上での課題の認識や手法の検討、実施等の取組を行う合同輸血療法委員会の設置を推進しているが、先進的な取組を行う合同輸血療法委員会が主体となって当事業を実施し、全国でその取組を共有することで、効果的な血液製剤の適正使用の方策を推進するものである。

事業概要



都道府県名	研究課題名
秋田県	標準的な災害時輸血療法実施マニュアルの策定と整備支援および広域災害・救急医療情報システム（EMIS）を活用した輸血医療連携
茨城県	「在宅・小規模医療施設における適正・安全な輸血」を確立するための好事例掘り起こしと詳細調査
神奈川県	多職種合同カンファレンスと輸血説明動画を活用した輸血療法の質的向上のための実践的研究
新潟県	血液製剤の廃棄低減に成功した中小規模医療機関の成功要因の徹底分析
岐阜県	中小規模病院における血液製剤の使用実態の把握と解析を活用した適正化方策事業の展開
広島県	災害時等における医療機関間の輸血用血液製剤搬送に伴う品質の担保に関する研究
愛媛県	地域医療における包括的輸血医療連携体制の確立
鹿児島県	鹿児島県医療機関の緊急時災害時の輸血医療体制における現状調査、および医療機関間連携のための基盤整備